

地域とともに、地域のために

もっと知ろう！建設業のこと！④

地方の建設業者は、地域の雇用・経済を支え、災害時の迅速な生活インフラの復旧工事など住民の暮らしを守る、地域密着型の企業です。建設業にスポットを当てて紹介するシリーズの4回目は、環境保全・美化活動や、未来を担う若い世代の育成事業など、地域に根ざした建設業ならではの社会貢献活動に焦点を当てて紹介します。

得意分野生かし 社会に役立つ活動を

もつと 住みよい 地域づくりへ



建設業の仕事は何かと聞かれたとき、道路やトンネル工事、公共施設の建設など社会資本整備を思い浮かべる人が多いでしょう。もちろん社会資本の整備も重要な役割の一つです。しかし、地方の建設業はただ物を造るだけではありません。地域をつくり上げてきたという自負を胸に、地域の人々と一緒に街を発展させていきたいという目的を持っています。その目的に向けた取り組みの一つとして行っているのが社会貢献活動です。全国各地の建設業者が得意分野を生かし、道路や河川沿いの草刈りやゴミ拾い、子どもを事故から守る交通安全運動など、地域に役立つ活動に積極的に取り組んでいます。

全国建設業協会では、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、各都道府県の建設業協会と連携し、道路・河川などの環境美化活動などを展開しています。建設業者ならではの力が生かせる災害ボランティアや、地域の子どもが遊べる環境づくりなどに取り組む企業もあります。

また、建設業にとって未来を担う若者を育成することも社会貢献の一環。中学生や高校生を対象にした現場見学会や体験会など、地域の教育活動や次世代を担う人材育成にも力を注いでいます。

島根県内の建設業者が行っている社会貢献活動の事例では、春と秋の交通安全運動に合わせ、ドライバーに安全を呼び掛ける啓発活動を実施。飲酒運転の撲滅や運転中の携帯電話の使用を禁止するのぼりなどを掲げ、ドライバーに安全運転を呼び掛けている。また、売り上げの一部を犯罪被害者支援に充てる自動販売機を設置したり、食のイベントとして芋煮会を主催したりするなど、さまざまな方法で地域に貢献しています。

企画・制作 山陰中央新報社
協力 島根県建設業協会

∞ 未来を創る人

株式会社 佐藤組
経営企画部次長
佐藤 太一さん
29歳 入社3年目



島根原子力発電所内の現場で業務を行っています。建設業は一般人から見ると、道路や公共施設を造るという固いイメージも持たれがちです。しかし、実際は地域貢献を実感できる魅力ある職業です。物を造るだけではなく、造った物を清掃活動などで美しくすることは地域貢献を実感できる取り組みの一つです。私たちが造った施設や道路を、地域の人々に心地よく使ってもらっている姿を見ると、この仕事をやりがいと誇りを感じます。

株式会社 豊洋
建築部
松田 純代さん
33歳 入社2年目



一般住宅のリフォームを担当し、材料や職人の手配、見積もり、図面作成などを業務としています。今年は島根県建設業協会(松江地区)の女性メンバー約30人でつくる「松江建設系女子の会」として、初めて松江市内の清掃活動に参加しました。地域のために皆で汗を流すことは、とても気持ちのいいものでした。社会貢献活動は地域の人のためだけではなく、仲間とのコミュニケーションや職場でのマナー向上など、頑張った体験が私たちの糧になったと感じています。

建設業は男性職場という印象がありますが、近年は女性の技術者も増えています。ぜひ、女性の方にも目指してほしい職業です。

地域の声

中国地方整備局
松江国道事務所
所長 小林 寛さん
44歳



松江国道事務所では、災害対応や道路空間の提供など安全で安心な道作り、環境づくりを行っています。2012年から「ふるさとまるごとクリーンアップ作戦」に参加し、地域環境を良くするという同じ目的を持つ建設業の皆様と交流を深めてきました。建設業界の継続的な社会貢献活動に感謝すると同時に、我々も積極的に活動に取り組みたいと思っています。また、今年はクリーンアップ作戦に女性技術者も参加しており、女性の活躍の場を広げるという侧面でも意義のある取り組みだと思います。今後も社会貢献活動が利用者の目に留まることで、業界に興味を持ってもらえるきっかけになってほしいと思います。

松江水郷祭
実行委員会
委員長 鶴鶴順さん
55歳



水都・松江の夏の風物詩「松江水郷祭」がいよいよ、8月1、2日の両日に開催されます。1929年に始まり75回目となる花火大会では今年、松江城国宝化を記念して過去最多の計1万3千発を打ち上げます。水郷祭は地域活性化を大きな目的に、ここ数年、観光客誘致に力を入れています。島根県建設業協会(松江地区)青年部会をはじめとする関係者の皆様には、水郷祭に合わせて宍道湖畔を清掃していただき、主催者として大変うれしく、感謝しています。清掃された美しい宍道湖岸で花火を観てもらうことは、観光客への最高の「おもてなし」にならります。今年も建設業の皆様をはじめ、多くの関係者と協力しながら、水郷祭で地域を大いに盛り上げたいと思います。

島根県立美術館
館長 長谷川 三郎さん
72歳



宍道湖岸にある島根県立美術館は、「水と調和する美術館」、「夕日につまれる美術館」として、毎年、大勢の方々にお越しいただいています。素晴らしい景観に恵まれた当館ですが、皆様に楽しんでいただけるのは、宍道湖岸や周辺が美しく保たれていてこそです。

建設業協会青年部の皆様のボランティアによる清掃活動は、とても意義深く、心から敬意と感謝を申し上げます。